

玄海地区漁場環境情報提供事業

津城 啓子

沿岸漁場および養殖漁場の漁場環境データを継続的に収集・情報提供し、県が策定する資源管理指針・資源管理計画および漁場改善計画の見直し・策定の資料とする。

1. 海況テレメータシステムによる水温塩分等モニタリング及びリアルタイム情報提供

図1に示す玄海沿岸域の唐津湾、名護屋浦、仮屋湾および伊万里湾の4定点において、自動観測装置による表層の水温、塩分、クロロフィルの定時観測（30分間隔）を行った。また、伊万里湾においては、中層の水温、塩分、クロロフィル、有害プランクトン、底層の水温、塩分、DOの定時観測（30分間隔）を行った。観測期間を表1に示す。

観測データは、リアルタイムで漁業者へ提供することを目的として、図2に示す海況テレメータシステムにより、インターネットを介して情報発信（図3）を行った。

自動観測装置により観測した表層水温の範囲は、唐津湾で10.5～30.0℃、名護屋浦で13～30.0℃、仮屋湾10.8～30.8℃、伊万里湾で9.9～31.6℃であった。

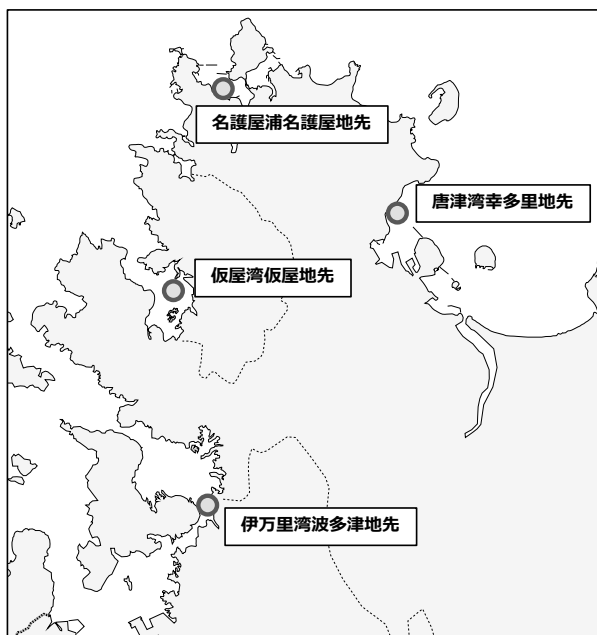


図1 自動観測装置の設置場所

表1 自動観測装置による観測期間

定点名	観測期間	備考(欠測期間)
唐津湾	4/1～3/31	9/1～9/26(台風避難)
名護屋浦	4/1～3/31	9/1～9/27(台風避難)
仮屋湾	4/1～3/31	9/1～9/27(台風避難)、1/10～3/14(メンテナンス)
伊万里湾(表層)	4/1～3/31	9/1～9/27(台風避難)、1/10～3/14(メンテナンス)
伊万里湾(中層)	4/1～3/31	9/1～9/27(台風避難)、1/10～3/14(メンテナンス)
伊万里湾(底層)	4/1～3/31	9/1～9/27(台風避難)、1/10～3/14(メンテナンス)

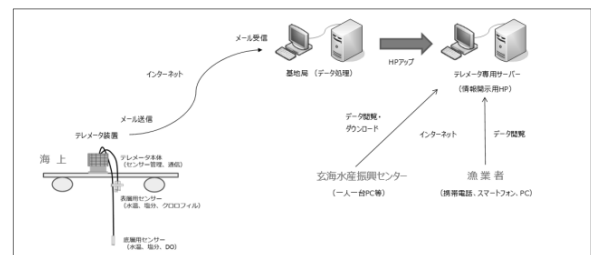


図2 海況テレメータシステムの概要図

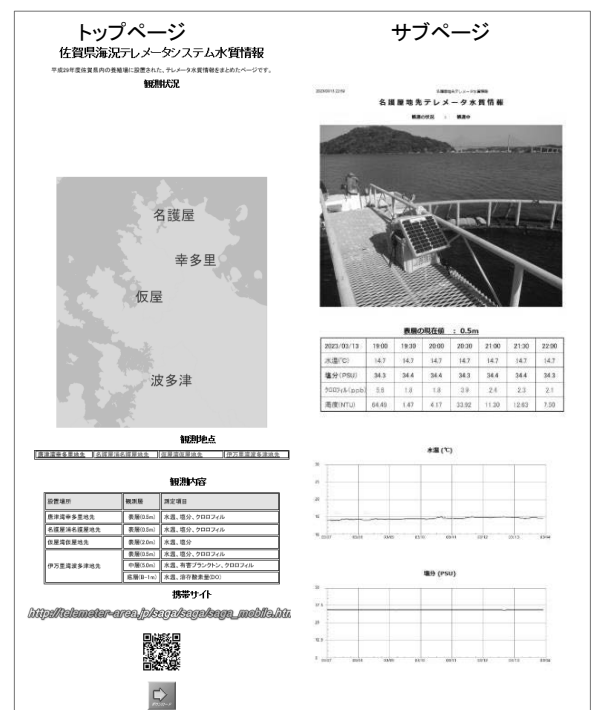


図3 情報開示用ホームページ画面

2. 自動観測装置設置定点における定期観測

唐津湾、名護屋浦、仮屋湾、伊万里湾の自動観測装置を設置した地点および外津浦において、毎月月上旬に漁場環境調査を行った。観測項目及び観測層については、次

のとおりである。

i) 観測項目：水深・透明度・水温・塩分・pH・DO

ii) 観測層：0 m・(2.5 m・5 m・10 m)・B-1 m

調査結果については「玄海漁場環境情報」として、毎月、漁業者等へ情報提供を行った（図4）。

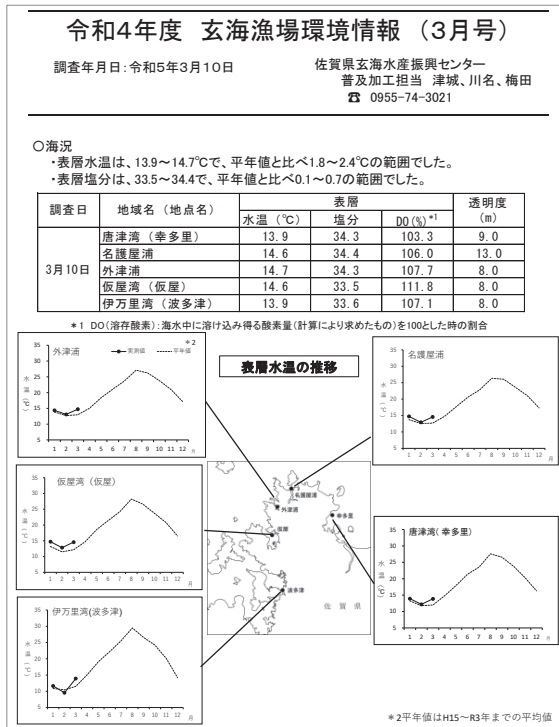


図4 玄海漁場環境情報

3. 養殖漁場環境調査

養殖漁場において、溶存酸素濃度を測定し「溶存酸素量調査結果」として、漁業者等に情報提供を行った（図5）。

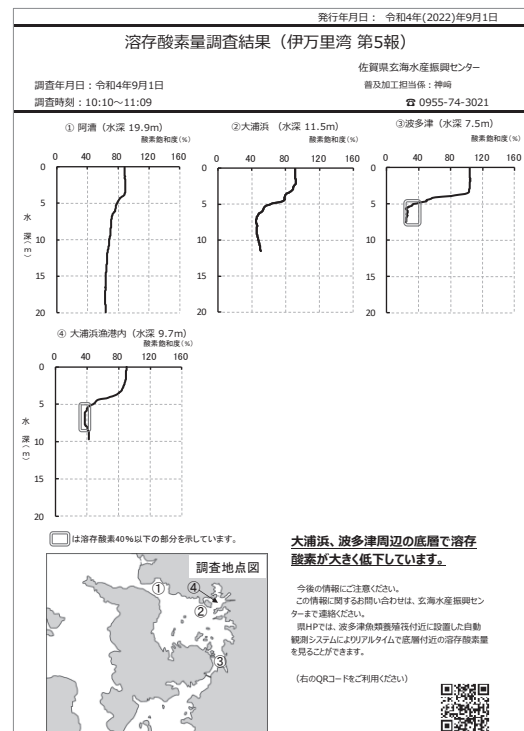


図5 溶存酸素量調査結果